

事務事業評価表 平成22年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 都市型農業の推進  
 基本事業 潤いと活力に満ちた農村の実現

事業名 **排水路維持管理経費**

[5038]

部名	経済部	事業開始年度	平成19年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>農業用排水路</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>農業地域に存する排水路の排水能力を維持する。</p>
	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>江別市土地基盤整備事業規則に基づき床浚いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	排水路の数	条	469	88	88	88
対象指標2	排水路延長	m	511,590	88,080	88,080	88,080
活動指標1	補助金額	千円	6,841	2,399	2,375	2,663
活動指標2						
成果指標1	排水路床浚い延長	m	10,640	3,700	3,570	3,550
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	6,895	2,515	2,375	2,808
正職員人件費 (B)		千円	3,350	1,672	1,660	1,666
総事業費 (A) + (B)		千円	10,245	4,187	4,035	4,474

費用内訳	
21年度	負担金 補助及び交付金 2,375千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	江別市の農業用排水路は昭和30年代を中心に造成された素堀水路が多く、経年劣化が著しいため、定期的に床浚い等の補修を行わなければならないことから、昭和51年に本事業が発生した。5年単位で計画を作成し、現在は第7次である。	事業を取り巻く環境変化	H14～18の計画は、江別市の財政状況を考慮に入れ、予算額の1,000万円の範囲内で実施を行い、H17より不法投棄対策にかかる予算を計上した。
--------	---	-------------	---

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由・  
根拠は？

公共の水路が対象となっているため妥当です。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

排水路の整備は、ほ場が低平地にある本市の場合、極めて重要であり、貢献度は大きいと言えます。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由・  
根拠は？

5年計画をベースにしながらも、毎年度、ヒアリングを実施しながら、予算内で最も効率が上がるように路線を選定しており、期待通りの成果が上がっています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

5年計画をベースにしながらも、毎年度、ヒアリングを実施しながら、予算内で最も効率が上がるように路線を選定しており、期待通りの成果が上がっています。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由・  
根拠は？

地元の工夫で床浚いは安価な発注時期を設定し、土砂置き場の提供や作業の参加等を行い、草刈は直営施工で行っています。高齢者が多くなる農村地区の現状を考慮に入れると、これ以上の地元の負担は厳しいと思慮します。